

2025年度 授業コード: SDJ05600

授業科目	*地域と大学				実務家教員担当科目	-	
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	高野 基子/Kristen Maree Sullivan/隅田 由加里/中原 智美/木村 政伸/鹿毛 美香/木村 茂喜/金谷 めぐみ/杉谷 修一/杉本 有紗/水貝 洵子/高崎 智子/岡部 明仁/山田 志麻/浜谷 小百合/永原 真奈見/ブラウン馬本 鈴子/池口 功晃/角谷 尚久						
授業概要	<p>本講義では、前期の「地域活動の基礎」での学びや自身の専門的な視点を活かし、北九州をけん引する企業や団体の事業や理念を深く理解します。授業内の活動を通じて、課題解決に貢献するためのスキルや姿勢を身につけることを目指します。</p> <p>講義の前半では、外部講師として北九州をけん引する企業や団体にご登壇いただき、それぞれの企業・団体等が、どのような理念のもとで事業に取り組み、社会的ニーズに込えているのか、また地域活性化・地域貢献への取り組みや課題、大学との関係、学生への期待などについて、理解を深めます。</p> <p>後半では、企業から提示された課題やテーマについて、学科を超えたメンバーとグループワークやディスカッションを行い、大学生の視点から自分たちの提案をまとめてプレゼンします。</p> <p>「地域活動の基礎」及び「初年次セミナー」で身につけたスキルや経験を活かしながら、本講義では、協調性やコミュニケーション能力、課題解決力、プレゼンテーション力のさらなる向上を目指します。また、地域やその課題に関心を持ち、社会の一員として今後の学びや活動につなげていくことを期待しています。</p>						
授業形態	対面授業			授業方法	グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、PBL（課題解決型学習）		
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域社会の構造や地域住民のニーズ、地域における様々な主体や活動について理解している。 2. 地域の企業、自治体、NPO等の理念を理解している。 3. 地域と大学、地域と自身の学びを関係づけて考えることができる。 4. 課題解決に向けた提案を積極的に行うことができる。 						
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域社会の構造や地域住民のニーズ、地域における様々な主体や活動について理解している。 2. 地域の企業、自治体、NPO等の理念を理解している。 3. 地域と大学、地域と自身の学びの関係性を自身の言葉で説明することができる。 4. 課題解決に向けた提案をメンバーと協働して策定し効果的に表現することができる。 						
評価方法・評価割合							
	評価方法	評価割合（数値）			備考		
	試験						
	小テスト						
	レポート	50			0		
	発表（口頭、プレゼンテーション）	30					
	レポート外の提出物						
	その他	20			授業態度、グループワークへの貢献姿勢		
カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング							

DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	-
学習課題（予習・復習）									1回の目安時間（時間）
小レポートやプレゼンの準備に取り組むこと。									4
授業計画									
第1回	オリエンテーション 前期の「地域活動の基礎」を振り返ったうえで、本授業の概要や目的、今後のスケジュールなどについて説明します。								
第2回	第1回の外部講師による講話								
第3回	第2回の外部講師による講話								
第4回	第3回の外部講師による講話								
第5回	第4回の外部講師による講話								
第6回	第5回の外部講師による講話								
第7回	第6回の外部講師による講話								
第8回	第7回の外部講師による講話								
第9回	前半の振り返りと後半への準備（グループワーク①） 7回の外部講師による講話から得た気づきを共有したうえで、外部講師の方々から提示された課題や考えてほしいテーマなどについて再度確認します。 ここから、皆さんはグループのメンバーと共に、大学生の視点から課題解決に取り組めます。								
第10回	グループワーク② この週から課題・テーマ別の教室に集まり、グループワークに取り組めます。大学生の視点からどのような「提案」を考えられるか。地域活動の基礎や初年次セミナーで身についたスキルを活かしながらグループワークに取り組みましょう。 【10回目～12回目の間に授業外課題としてプレゼンのコツおよびパワーポイントのコツについて学ぶオンデマンド学習に取り組むこと】								
第11回	グループワーク③ 引き続きグループワークに取り組めます。今週は現時点のアイデアを中間発表し、担当教員からフィードバックをもらいます。 【10回目～12回目の間に授業外課題としてプレゼンのコツおよびパワーポイントのコツについて学ぶオンデマンド学習に取り組むこと】								
第12回	グループワーク④ 前回の授業でもらったフィードバックを参考にアイデアをブラッシュアップしつつ、提案したい内容をプレゼンの形に少しずつ近づけてみましょう。 【10回目～12回目の間に授業外課題としてプレゼンのコツおよびパワーポイントのコツについて学ぶオンデマンド学習に取り組むこと】								
第13回	グループワーク⑤ 次週のプレゼン本番に備え、最終的な調整を行いましょう。プレゼンの練習もしましょう。								
第14回	プレゼンテーション本番								

	<p>各課題・テーマ毎の教室で、課題を出していただいた企業・団体等の代表の方に向けて、自分たちの「提案」をプレゼンします。</p> <p>(課題を出していただいた企業・団体等の代表を招く予定です。先方の都合によりオンライン上での参加になる可能性もあります。相手が教室にいらっしゃる場合とオンライン上で参加されている場合、両方に備えて準備をしましょう。)</p>
第15回	<p>全体でのプレゼンテーション</p> <p>最後の授業ではまた全員で集まり、各課題・テーマからグループを1つずつ代表者として学生全員に対しプレゼンを行います。(代表グループの決め方は各課題・テーマの教室に委ねられます。)</p> <p>他の課題・テーマに対してどのような提案がなされたかを聞いて、学生同士で感想やフィードバックを共有します。</p>
テキスト	授業内で適宜紹介する。
参考図書・教材 /データ ベース・ 雑誌等の 紹介	<p>小レポートについて全体の感想をGoogle Classroomを用いて共有します。</p> <p>授業態度および参加の度合いについて適宜に授業中に口頭でフィードバックをします。</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>この授業を通して、北九州をより深く知り、学科を超えた仲間と共に課題解決に取り組むことは大きなチャレンジであり成長の機会となるはずですが、意見の調和や、限られた時間の中で相手に伝わるプレゼンテーションを行うことには困難も多いと思いますが、互いを尊重しあいチームワークを発揮して仲間と共に乗り越えていきましょう。そして支えて下さる地域みなさまに感謝の気持ちを持ち、学生だからこそできる提案・活動を考えていきましょう。そしてこの地で学び成長していくみなさんの笑顔がますます輝いていくことを楽しみにしています。</p>
学生へのメッセージ・コメント	